

8. トリチウム分析法

専門

[オンライン聴講あり]

1. 対象者

環境放射線（能）モニタリングの実務担当者

2. 概要

液体シンチレーション測定装置の基礎、環境試料中のトリチウム濃度範囲を習得するとともに、試料の調製、測定、測定データの解析等の実習を通じて技術的な手法等を習得します。

実習では、水試料の蒸留や生物試料の乾式分解、還流等の前処理、乳化シンチレータ添加による測定試料の調製並びに液体シンチレーションカウンタによる測定までの一連の操作を行います。

また、大気中トリチウムの採取方法の紹介やトリチウムを濃縮する操作である電解濃縮の実習も行います。

3. 内容

下表のとおり

分類	科目名	時間数
講義	トリチウム分析法概論（迅速分析法を含む）*1	2.5
	不確かさの求め方	1.0
	被ばく線量評価	1.5
実習	効率測定用標準線源の作製	4.0
	試料の精製及び調製、測定条件の設定	6.5
	クエンチング補正曲線の作成、 試料の測定（迅速分析法を含む）	2.5
	試料の外部標準チャンネル比の測定	4.0
	測定データの解析	2.5

*1：聴講可能です。

お問合せ：教育研修グループ E-mail:kenshu@jcac.or.jp

Tel：043-424-8663（直通）